

## 1. 活動報告（事務局 記）

—6月25日（木）たんぼに追加米ぬか50kgを散布しました。

20日に刈り取った草の処分をしました

—7月5日（日）13名の会員の参加がありました。作業内容は

- ① 田圃の除草（手作業および除草機で行いましたが、まだ残っています）
- ② 蓮田内に蔓延しているアシカキの除去

— 非常活動として、前田・吉富キ・原田マ会員にてそれぞれ行いました。

- ①ハス田のイグサ刈り取りエコアップと片付け
- ②たんぼの土手（須賀河内川側）草刈、電柵の設置場所の草刈と準備
- ③駐車場のトイレ周りの草刈り

—7月18日（土）親子自然観察隊と山大学生の応援を得て、維持活動を行いました。

- ① 田圃の除草（除草機で行いました）
- ② 案山子作り
- ③ 蓮田およびため池内の除草

参加者は、会員13名、観察隊14名（保護者6名、隊員4名、ジュニア隊員3名、幼児1名）、山工学部学生（インドネシア留学生を含む）8名、フジときららネットの吉富さんも応援に来られ打ち合わせもしました。

—7月22日（水）例年の中国電力宇部電力所のボランティア活動に所長・副所長を含めた活動助勢があり、須賀河内川もすっかりきれいになりました。

- ① 須賀河内川の田圃南側の葦の刈り取り集積と川浚え
- ② 湿地帯横の川沿いの葦の刈り取りと集積

午前・午後各15名 計30名にて降雨の中汗を流していただきました。

原田会長・管会員・原田マ会員で対応しました。

## 2. 今後の予定（事務局 記）

◎見学者

—8月1日（土）フジときららネットのこどもエコクラブ

◎行 事

—8月2日（日）維持活動・草刈り（駐車場・須賀河内川一部）  
厚東中学校の生徒会ボランティア活動の応援有

—8月8日（土）親子自然観察隊（水棲動物観察・須賀河内川）

### 3. 来訪者の声

—2015, 6, 22

水の音に癒されました。田んぼに小さなかえるがたくさんいました。(防府市)

—2015, 6, 22

いつ来てもとてもいい所で、のんびりさせてもらいました。草がきれいに刈ってあって、メンバーの方がして下さっているのですね。ありがとうございます。稲が少し大きくなりましたね。楽しみです。(二俣瀬小 母)

### 4. 会員の声【 我が家にツバメくる Part-3 】 (原田満洲夫 記)

あれだけ、騒いで啼いていた「チュー・チュービー」と二羽が時には3羽が7月10日過ぎにはピタリと来なくなった。鏡に映る自分を見て仲間と勘違いしたり、巣づくりも、わら屑や練った泥をわずかに運んでいたが、全く進展しなかった。老父婦はまたもや心配で、あれでもなしこれでもなしと協議していたが全く来なくなりさらに心配が増えた。せっかくの雛の誕生をも確認できず、今は閑古の一言に尽きている。ツバメが泣かない・老父婦の会話もなくなり、Part-4も書けなくなった。

夜もドアーを開放してやり、巣が落ちないように保護板をつけた。老父婦に何の責任があるのだろうか？ とにかく静かになった。

“台風が 過ぎし里山 青落ち葉”

### 5. 親子自然観察隊 「田んぼの除草・案山子作り」(原谷 一誠 記)

今回は観察隊の行事としてではなく、会の維持活動に山大学生と応援して、稲作体験となる田んぼの除草と案山子作りを行いました。除草機を使うのは少し難しいところもあったようですが、昔の人が苦勞して稲作をしていたという体験が出来たことは良かったと感じました。



田んぼの除草



ハス田のエコアップ



案山子作り



案山子の前に全員集合

### 親子自然観察隊の親子の感想

#### ★下川拓実

草刈りの時にこけそうになったり、服に土がついたりしたけど楽しかったです。かかし作りは、見ていたり、竹を取りに行くだけだったけど、かかしが田んぼを守ってくれると思います。

#### ★永富花音

案山子の手と足を針金で結ぶのが難しかったです。案山子作りは初めてでしたがとても楽しかったです。

#### ★永富利津子（母）

除草機を使う際に腰を入れても力が入らず、又、水田に足を取られバランスを4～5回崩しました。見るとやるのでは大違いで悪戦苦闘しました。いつも初めての体験で、とても楽しく参加させて頂いています。次回も楽しみにしています。

### 山大工学部学生の感想

#### ★きな かずき

ただ自然に触れるということではなく、今まで体験したことのない、田んぼの手入れやカカシ作りを体験することができて、貴重な経験をする事ができました。また、そのような経験をすることができる場所がこんな近くにあることを知ることができて良かったです。大学の留学生と交流するサークルで活動しましたが、異国の方とこのような体験を一緒に経験することができて良かったです。一緒に作業をした子供達と私ら大学生だけではなく、留学生の方と触れ合うことができたのは良かったと思います。

#### ★田口 良輔

除草やカカシ作りといった貴重な経験ができてすごく良かったです！そして、ビオトープに対しての知識が得られて良かったです！

#### ★ティウィ（インドネシア留学生）

It was interesting because I can experienced working in a rice field and enjoyed a great time with the group member.

#### ★岡本 光輔

晴空の下多くの人と自然と触れ合えて楽しかったです。元気な小学生から元気をもらえた気がしました。

6. ビオトープ関連：「山口県のトンボたち」 (管 哲郎 記)

(31) タイワンウチワヤンマ *Ictinogomphus pertinax*

サナエトンボ科 *Gomphidae* Banks

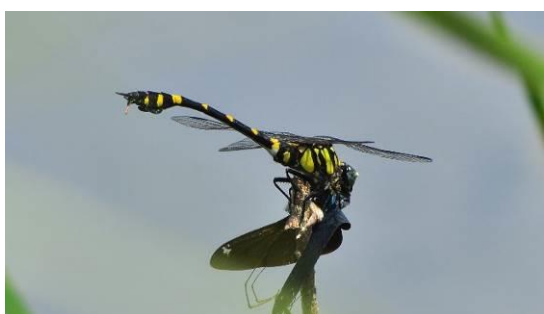
名前はヤンマとされていますがサナエトンボの仲間です。平地の比較的大きい池に生息します。6月下旬～9月下旬ごろまで見られますが、7月～8月に多くみられます。ウチワヤンマには、しっぽの先(腹部第8節)にウチワのような広がりがあり、少し大きく黄色い模様が入りますが、タイワンウチワヤンマでは「ウチワ」の部分がやや小さく色も黒一色ですので見分けられます。池の中の杭や周辺の枝先に止まっていますのでいけば見つかると思います。名前の通り東南アジアや台湾、沖縄などのあったかい国から来たトンボです、温暖化に伴い四国はもちろん神奈川県や東海地方にまで分布を拡大しているようです。



タイワンウチワヤンマ ♂



タイワンウチワヤンマ ♀



チョウトンボを食べている♂



深夜の羽化状況

タイワンウチワヤンマの羽化は深夜に行われます、23:30より羽化をはじめ、およそ30分で写真の状況になりました。翅が開き飛び立つまではおよそ2時間半でした、羽化の所要時間はおよそ3時間、途中雨に降られたりすると朝までかかるようです。



ウチワヤンマ♂の尾部



タイワンウチワヤンマ♂の尾部

## 7. 会よりの連絡事項

1. 雨が適当に降り、太陽も燦燦と照り付けるため稲の生育もすこぶる良好に進んでいます。ただ周囲の草・我々には雑草と判断する場所の草が伸び放題となって活動のたびに会員総出で対応しています。

会員有志の方も時々お願いし草刈りも行っています。その中で「シュワリングネイチャーの会」松田会長他2～3名の方が当会駐車場の草刈りを行ってくださっています。有難いもので駐車場もトラブルなく使用できています。

当会の活動日はビオトープ本体の維持に精一杯で駐車場も含めての草刈り等なかなかできません。ほかの団体も利用される方々にはその辺りを周知されて当会の本来の活動日にも応援参加（たとえば「フジトキララネット子どもエコクラブ」の幹部の方のように）頂ければ大変幸せに思います。

2. 先日の活動日に親子自然観察隊の皆さんと、山口大学の学生ボランティアの皆様により田んぼの見守り神様として3体の案山子をつくり設置して頂きました。

当日はビオトープのある二俣瀬車地の「御御行（おみゆきと読む）」が行われました。これは田んぼの虫を退治する「虫よけ神事」の一つでビオトープもお賽銭をおさめ虫による不作の予防をお願いしました。

これらの非科学的ではあるが、精神的な伝統も皆様方に知っていただき今後も継承していきたいものです。

## 8. 編集後記

今年の田植えは例年より一週間早められた。籾の乾燥をして頂く方への迷惑を考慮しての事でした。田植えから一ヶ月、稲の成育は大丈夫かなと心配、でも雑草は糠を撒いても押さえる事ができない成長を。それで学生さん達も加わって人海戦術で草退治。それから二週間稲も何とか成長の姿を。学生さん達のにぎやかな除草に助けられ活気に満ちた大勢での活動、ちょっぴり昔を思い出す。かかしさんにも見守られ実りの秋を迎えられる事を楽しみにしたい。

（ 松本 フデ子 記 ）